

施策12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策

＜目指すまちの姿＞

犯罪と交通事故が少なく、子どもから高齢者まで安心して生活を送れるまち

■全国的に多様化・凶悪化する犯罪や消費者問題、交通事故などから子どもから高齢者まで、一人ひとりの生命と暮らしを守り、被害に遭う人を最小限におさえることができる、市民、地域、行政の連携による安全・安心なまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数（大阪府犯罪統計）

＜現状値（令和3年）＞

314 件

＜目標値（令和14年）＞

250 件

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇青色防犯パトロールや交通安全施設の整備、防犯カメラ及び防犯灯の設置等、関係団体との連携による防犯・交通安全対策を実施しており、犯罪認知件数と人身事故発生件数ともに減少傾向である一方、車両相互の事故は増加傾向にあります。
- ◇SNSを悪用した消費者トラブル等に対し、消費生活相談員や行政相談員による相談や、弁護士による無料法律相談を実施していますが、問題が多岐にわたり複雑化しています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇地域住民や関係団体等との連携による地域における子どもの見守り体制構築へのさらなる支援が必要です。
- ◇地域の理解を踏まえた防犯カメラ及び防犯灯の増設並びに適切な維持管理手法の確立が必要です。
- ◇通学時に起こりうる事件や事故への対策が必要です。
- ◇歩行者優先となる道路整備を行っていくとともに、ドライバーのマナー向上が必要です。
- ◇年々複雑・多様化する相談に加えて、成人年齢引き下げに伴う若年層の消費者トラブル増加への対応が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



防犯カメラや防犯灯を増やしたり、歩行者や自転車にもやさしい安全なまちになったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 防犯対策の充実

- ◇地域の関係団体等との連携による子どもの見守り活動等のさらなる支援を行うとともに、防犯カメラ及び防犯灯の設置、適切な維持管理を行うための仕組みづくりに取り組みます。
- ◇市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域の自主防犯活動を支援します。

② 交通安全対策の推進

- ◇地域の関係団体等との連携により、危険箇所の点検等、通学路の安全対策の強化を図ります。
- ◇歩行者優先社会づくりに向けた啓発や、交通安全施設の整備等、歩行者の安全確保を図ります。

③ 消費者トラブル対策の推進

- ◇市民一人ひとりの消費者トラブルの意識の向上を図るとともに、関係機関との連携により、見守りネットワークの構築に向けて取り組みます。
- ◇消費生活相談員や弁護士、行政書士等の専門家による相談体制の充実を図るとともに、消費生活に関する講座及び情報発信、啓発を行います。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市通学路交通安全プログラム